

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

令和3年度 第5回 幹事会

開催日時

令和4年3月22日(火) 14:30~15:30

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①相談支援専門員からの活動報告 | ②第3回自立支援協議会の振り返り |
| ③長野県自立支援協議会の報告 | ④協議会だよりについて |
| ⑤第6期障害福祉計画の進捗状況 | ⑥来年度第1回幹事会開催日程 |
| ⑦その他 | |

会議で話し合われた事

① 相談支援専門員からの報告(1月から3月)

○療育

- 1月~2月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、療育に関わる事業・保育園や学校訪問・支援会議などの延期や中止が余儀なくされた。中でも機会の損失を防ぐために実施主体である市町村からの提案で、参加者の分割やプログラム変更・形式を変えての実施など、目的に合わせて柔軟に開催できた事業もあった。
- 来年度への継続した課題として、放課後児童クラブにおける障がいのあるお子さんやグレーゾーンのお子さんの受け入れ及び支援体制についての話題が共有できる場を検討していきたい。

○就業・生活支援センター

- 住所変更されないまま支援を必要とされるケースについて。支援サービスが横断的に必要なケースであるが住所変更がされていないために支援役割を調整している間に状況が悪化してしまうことがある。
- 地域行政や就労支援事業所の理解、協力の元、就労アセスメントの新しいスタイルが模索されている。事業スタイルの検証をしつつ、当事者利益が最優先となる内容を構築していきたい。

○地域あんしんコーディネーター

- ひとり暮らしの体験事業は、相談、見学が少しずつ増えているが、コロナのまん延防止措置を受けての延長や春になったら体験したいとの声も多い。来年度は、体験の場での居宅介護の導入について精査検討していきたい。
- 来年度は「助け合い研修会」と題して、事業所職員が得意とする分野で講師になり、事業所間で行き来しながら研修会を行える体制を整え、事業所のスキルアップ、人材育成、地域連携できる体制を目指したい。

○基幹相談

- 相談支援専門員ネットワーク会議で1月は市町村合同会議を実施。グループホームを運営する4事業所に聴き取りを実施し課題を抽出している。
- 放課後等デイサービスについて新規利用者の受け入れが難しくなっている。事業所の人材不足だけでなく、子育てや働く親御さんに対する支援と協力体制を地域の中でどう作っていくかが課題。

○市町村から

- GHの重度高齢化が進んでいる中、入所施設をGHにする話も上がっており懸念している。
- 潜在的な要支援者への介入に力を入れていけると良い。

② 第3回自立支援協議会の振り返り

○開催日時：令和4年2月22日(火) 10:00~11:30

○開催方法：web会議(Zoom)

○内容：①各部会の年間活動報告

②意見交換「ちょっと気になるお家とつながるために~孤立を防ぐ取り組みを考えよう~」

③障害者差別解消支援地域協議会

※協議会終了後、部会長会議が行われた。テーマは、「来年度に向けて他部会と連携・情報共有したい事」。

会議で話し合われた事

- ③ 長野県自立支援協議会の報告
 - ・ 専門部会等の活動状況
 - ・ 地域生活支援拠点等の機能強化に向けて
- ④ 協議会だよりについて
案→承諾をいただいた。
- ⑤ 第6期障害福祉計画の進捗状況
別紙参照
- ⑥ 来年度第1回の幹事会開催日程について
日時：令和4年4月18日（月）10：30～
場所：飯山庁舎 大会議室
- ⑦ その他